



海外感染症情報

検査管理課

☎フリーダイヤル 0120-14-8734

発生地域	更新年月日	情報内容
—	2012年07月19日	米国で百日咳の患者数が増えています。
—	2012年07月17日	米国でのウエストナイルウイルスとその他のアルボウイルスによる感染症について
—	2012年07月17日	米国のバベシア症について
ヨーロッパ	2012年07月17日	ヨーロッパでウエストナイル熱の患者が発生しました。
中南米	2012年07月17日	中米でのコレラの流行状況について(更新1)
東南アジア	2012年07月13日	カンボジアで発生している原因不明の病気の調査結果について(更新3) ★
中南米	2012年07月10日	中米でのコレラの流行状況について
東南アジア	2012年07月09日	カンボジアで発生している原因不明の病気の調査結果について(更新2)
東南アジア	2012年07月09日	インドネシアで鳥インフルエンザの患者が発生しました。
東南アジア	2012年07月09日	カンボジアで原因不明の病気が発生しています(更新1)。

※特に注目すべき情報をピックアップして掲載しています。★…詳細情報を下段に掲載しています。

情報源：厚生労働省検疫所ホームページ(<http://www.forth.go.jp/index.html>) 新着情報、最新ニュース

【2012年07月13日更新 カンボジアで発生している原因不明の病気の調査結果について(更新3)】

2012年7月12日に公表されたWHOの情報によりますと、カンボジア保健省は、カンボジア国内の小児で発生した原因不明の病気について、調査の結果、大部分は重症の手足口病であったと結論づけました。

調査によって、合計78人の患者が特定されました。そのうち、カンタ・ボパ小児病院から報告があった患者は62人で、残りは他の病院から報告があった患者でした。症例定義を満たした61人の患者を中心に調査が行われ、そのうち54人が死亡しました。

適切な検体採取をする前に死亡した患者もおり、すべての患者の検体を検査することはできませんでした。合計31人の患者の検体が採取され、カンボジアのパスツール研究所で、いくつかの病原体の検査が行われました。その結果、大部分の検体で、手足口病を起こすエンテロウイルス71(EV71)が陽性となりました。また、インフルエンザ菌b型や豚連鎖球菌など、他の病原体が陽性になった検体も少数ありました。

調査の結果、患者のほとんどは3歳未満で、慢性疾患や栄養失調の患者が数人いました。患者は14州で発生しており、多くはステロイドを投与されていました。ステロイドの使用によって、EV71の患者の状態が悪化したことがわかりました。